

Business Report

第106期 株主通信 2006年4月1日～2007年3月31日



山中湖畔旭日丘に、本年7月誕生 宿泊型アウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」



Contents

- 1……ごあいさつ
- 2……事業別概況（連結）
- 4……連結財務諸表
- 6……単独財務諸表
- 8……THE YEAR IN REVIEW
- 10……Fujikyū Information
- 12……営業案内図
- 13……会社概況・株式情報
- 14……株主の方へのお知らせ

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。
心から御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移するなか、設備投資の増加や雇用の拡大が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にありました。そのような状況のなか、当社グループは原油価格の高騰や個人消費の伸び悩みによる影響を受けながらも、中期経営計画に基づく経営戦略のもと、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

運輸事業では、平成18年7月に創立80周年記念事業として、富士五湖周辺の観光の「玄関口」である河口湖駅をリニューアルオープンしたほか、富士急行線において運転士異常時列車停止装置を設置するなど、利用客の利便性向上を図ると同時に、更なる安全の確保に積極的に取り組みました。レジャー・サービス事業では、「富士急ハイランド」において、平成18年7月に総回転数ギネス世界記録認定の超大型ローラーコースター「ええじゃないか」、富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では、回転遊具「フライングウルトラマン☆シュワッチ」を導入したほか、本年2月には、新たに首都圏エリアにおいて、相模湖畔の広大な自然を活かした「さがみ湖ピクニックランド」の事業を譲り受け運営を開始するなど、独自性の高い施設・商品の開発と積極的な営業活動に努めました結果、当期の連結売上高は464億14百万円、経常利益は38億13百万円となりました。

来期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、個人消費の伸び悩みや、ゼロ金利解除による影響といった懸念材料はあるものの、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加や雇用の拡大など、緩やかな回復基調にあると考えられます。

このような状況のなか、運輸事業につきましては、既存バス路線の見直しと首都圏における新規路線の開設を進めてまいります。レジャー・サービス事業につきましては、「富士急ハイランド」において、本年7月に新アトラクション「GUNDAM CRISIS（ガンダム クライシス）」、遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」において、新テーマゾーン「M78ウルトラマンパーク」を新設し施設の充実を図ってまいります。また、山中湖畔旭日丘において、本年7月に宿泊型アウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」をオープンさせるなど、オリジナリティ溢れた施設・高付加価値の新サービスを提供し、増収に努めるとともに、本年9月に静岡県小山町で開催されるF1日本グランプリに向けて、運輸、レジャー・サービスなど関係する事業の受入態勢の整備を進めてまいります。

本年は、平成17年に発表した中期経営計画の最終年度となりますが、『エリア戦略』に基づく事業展開を強化するとともに、経営資源を最大限に活用することにより、目標を達成すべく、引き続き「クリエイティブ&ディファレント」の方針に基づき、グループ一体となって取り組んでまいります。

また、運輸、レジャー・サービスなど各事業において、更なる安全を確保するための体制の構築と対策の充実を図り、平成18年10月に制定した「富士急グループ企業行動規範」に則ってグループ全役職員が行動し、120%の安全と最高のホスピタリティの提供、コンプライアンス重視の経営、社会貢献活動の推進など、引き続き企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制システムの整備を進め、アメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

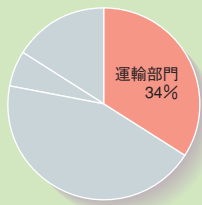
平成19年6月

代表取締役社長

堀内 光一郎



■ 運輸部門



鉄道事業につきましては、7月に創立80周年記念事業として、富士五湖周辺の観光の“玄関口”である河口湖駅をリニューアルオープンし、利用客の利便性向上を図りました。また、9月にはスイスのマッターホルンゴッタード鉄道との姉妹鉄道締結15周年を記念した、「マッターホルン号」の運行を開始するとともに、平成19年3月には「トーマスランド号」の車内をトーマスキャラクターデザインにリニューアルを行い、需要の喚起に努めました。

また、運転士異常時列車停止装置を設置するとともに、安全管理規程を制定し、これに則って運行するなど、更なる安全の確保に積極的に取り組みました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、引き続き国及び関係地方自治体と協議し、不採算路線の改善に取り組み、地域住民の利便性確保に努めました。



マッターホルン号

高速バス営業につきましては、富士急シティバス株式会社で7月に「沼津～渋谷・新宿線」を、富士急静岡バス株式会社

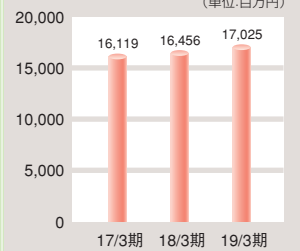
では、12月に「富士・吉原～東京駅線」を新規路線として開設するなど、需要の創出を図りました。

貸切バス営業につきましては、バスセールスセンターを中心に「富士急」ブランドによるトータルセールスの強化に取り組むとともに、地元企業の通勤時における契約輸送を積極的に受注するなど、安定収入の確保に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、サービスの向上と営業体制の強化に取り組み、利用客の拡大を図りました。

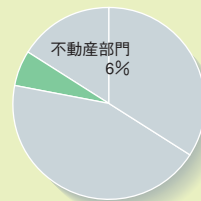
この結果、売上高は170億25百万円（対前期比3.5%増）、営業利益は11億42百万円（対前期比11.9%増）となりました。

売上高の推移 (単位:百万円)



河口湖駅

■ 不動産部門

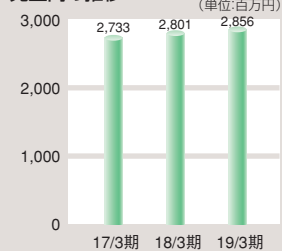


不動産販売事業につきましては、中期経営計画の『エリア戦略』に基づき、山中湖畔別荘地において、建築デザイナーやハウスメーカーとのコラボレーションによる高付加価値のライフスタイル提案型商品（「ホンカガーデン山中湖」「ガレージハウス山中湖」「マウントビューヒル山中湖」）の開発と販売に取り組みました。また、別荘地内の計画的な環境整備を行うとともに、7月にオープンした「森の駅旭日丘」において、コンシェルジュによる別荘地ライフスタイルの提案サービスを提供し、別荘オーナーの満足度向上に努めました。富士南麓の十里木高原別荘地では、別荘地巡回サービスカー（愛称「じゅうりぎばんばん」）を導入し、別荘オーナーの多様なニーズに応えました。

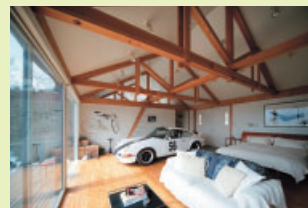
また、不動産賃貸事業につきましては、平成19年3月に富士吉田駅の複合専門店ビル「Q-STA（キュースタ）」に立体駐車場を建築し、利便性の向上を図るとともに、引き続き社有地の有効活用に取り組みました。

この結果、売上高は28億56百万円（対前期比1.9%増）、営業利益は6億50百万円（対前期比19.2%減）となりました。

売上高の推移 (単位:百万円)

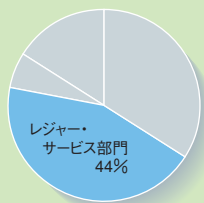


じゅうりぎばんばん



ガレージハウス山中湖

■ レジャー・サービス部門



遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」に、7月に総回転数ギネス世界記録認定の超大型ローラーコースター「ええじゃないか」を導入し、大好評を博しました。また、季節に応じた各種催事を実施することにより利用客の拡大を図り、増収に努めました。

富士南麓の遊園地「Gripa（ぐりんぱ）」では、7月に回転遊具「フライングウルトラマン☆シュワッチ」を導入するとともに、シルバニアビレッジエリアで各種催事の充実を図り、需要の喚起に取り組みました。

また、平成19年2月には、新たに首都圏のエリアにおいて、相模湖畔の広大な自然を活かした「さがみ湖ピクニックランド」の事業を譲り受け、運営を開始いたしました。

ホテル事業につきましては、「ハイランドリゾート ホテル&スパ」で、7月に新チャペル「聖コニファーチャペル」を新設するとともに、「ええじゃないか」の導入にあわせた宿泊プランの販売を強化



聖コニファーチャペル

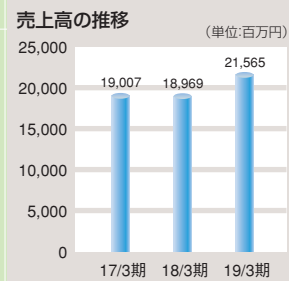
し、需要の喚起と増収に努めました。また、11月に純和風天然温泉施設「ふじやま温泉」の営業を開始し、新たにスパ機能を兼ね備えた施設として各種プランを販売し、利用客の拡大に取り組みました。

また、「ホテルマウント富士」では、7月に全室個室タイプのペットホテルを新設し、新規顧客の獲得を図りました。

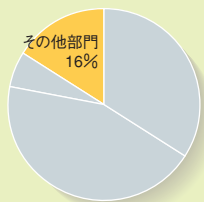
ゴルフ場事業につきましては、利用客のニーズに対応した各種企画商品を設定するなど、増収に努める一方、「富士ゴルフコース」では、平成19年3月に女性用更衣室及び浴室のリニューアルを行い、利用客のサービス向上に取り組みました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、指定管理者制度により自治体の「公の施設」計9施設の運営を受託し、増収を図るとともに、7月に熱海市初島で、アジアリゾートをテーマとした複合リゾート施設「初島アイランドリゾート」をオープンし、需要の喚起に努めました。

この結果、売上高は215億65百万円（対前期比13.7%増）、営業利益は27億11百万円（対前期比38.8%増）となりました。



■ その他部門



富士ミネラルウォーター

富士ミネラルウォーター株式会社では、オリジナルラベル商品の開発のほか、引き続き非常用保存水の販売に取り組み、成果を上げました。また、株式会社ネプチューンでは、主力商品であるバス用機器の積極的な販売活動を行い、株式会社富士急情報システムでは、社外からのシステム開発を積極的に受注し、増収に努めました。

この結果、売上高は80億33百万円（対前期比10.1%増）、営業利益は2億45百万円（対前期比1.3%減）となりました。



ええじゃないか



連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		23,301	24,139
現金及び預金		6,441	6,954
受取手形及び売掛金		2,681	2,732
たな卸資産		13,088	13,355
その他		1,090	1,096
固定資産		62,378	60,291
有形固定資産		51,922	50,132
建物及び構築物		28,018	26,581
機械装置及び運搬具		8,495	6,989
土地		13,519	13,305
建設仮勘定		275	1,539
その他		1,612	1,716
無形固定資産		3,002	2,907
投資その他の資産		7,454	7,251
投資有価証券		5,732	5,465
その他		1,721	1,786
資産合計		85,680	84,430

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		22,888	21,374
支払手形及び買掛金		3,052	2,843
短期借入金		14,884	14,322
賞与引当金		505	518
その他		4,445	3,690
固定負債		46,686	48,912
長期借入金		40,288	42,289
退職給付引当金		1,520	1,651
その他		4,877	4,970
負債合計		69,574	70,286
(少数株主持分)			
少数株主持分		—	281
(資本の部)			
資本金		—	9,126
資本剰余金		—	3,322
利益剰余金		—	2,583
その他有価証券評価差額金		—	801
自己株式		—	△1,970
資本合計		—	13,862
負債、少数株主持分及び資本合計		—	84,430
(純資産の部)			
株主資本		14,932	—
資本金		9,126	—
資本剰余金		3,399	—
利益剰余金		3,661	—
自己株式		△1,254	—
評価・換算差額等		608	—
その他有価証券評価差額金		608	—
少数株主持分		564	—
純資産合計		16,105	—
負債・純資産合計		85,680	—

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）
営業収益		46,414	43,342
営業費		41,703	39,355
営業利益		4,710	3,986
営業外収益		385	319
営業外費用		1,282	1,200
経常利益		3,813	3,106
特別利益		281	980
特別損失		1,223	1,228
税金等調整前当期純利益		2,871	2,858
法人税、住民税及び事業税		1,146	809
法人税等調整額		△30	469
少数株主利益		117	52
当期純利益		1,638	1,525

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,689	5,128
税金等調整前当期純利益		2,871	2,858
減価償却費		3,566	3,456
その他損益等調整額		1,938	914
資産・負債の増減額		371	△154
小計		8,747	7,074
利息の支払額等		△2,058	△1,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,234	△4,745
有形固定資産の取得による支出		△6,640	△5,062
その他		406	316
財務活動によるキャッシュ・フロー		△948	△2,785
借入金の増減額		△1,439	△2,277
その他		490	△508
現金及び現金同等物の増減額		△493	△2,401
現金及び現金同等物の期首残高		6,798	9,200
現金及び現金同等物の期末残高		6,304	6,798

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日 残高	9,126	3,322	2,583	△ 1,970	13,061	801	281	14,143
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 523		△ 523			△ 523
役員賞与			△ 36		△ 36			△ 36
当期純利益			1,638		1,638			1,638
自己株式の取得				△ 12	△ 12			△ 12
自己株式の処分		76		728	805			805
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 192	283	90
連結会計年度中の変動額合計	—	76	1,078	716	1,871	△ 192	283	1,961
平成19年3月31日 残高	9,126	3,399	3,661	△ 1,254	14,932	608	564	16,105

貸借対照表（要旨）

科目	期別	第106期 (平成19年3月31日現在)	第105期 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		19,113	19,006
現金及び預金		4,674	4,635
未収運賃		579	622
未収金		655	531
たな卸資産		11,768	12,277
その他の流動資産		1,443	944
貸倒引当金		△6	△4
固定資産		56,940	55,765
鉄道事業固定資産		2,914	2,689
自動車事業固定資産		3,169	3,153
観光事業固定資産		28,609	25,575
土地建物事業固定資産		10,159	10,173
各事業関連固定資産		2,271	2,306
その他の固定資産		411	423
建設仮勘定		69	1,446
投資その他の資産		9,335	9,996
投資有価証券		5,963	5,642
長期貸付金		2,834	3,785
その他の投資等		699	731
貸倒引当金		△161	△162
資産合計		76,054	74,771

(単位：百万円)

科目	期別	第106期 (平成19年3月31日現在)	第105期 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		17,083	14,389
短期借入金		11,635	10,751
未払金		2,016	1,797
賞与引当金		85	88
その他の流動負債		3,345	1,752
固定負債		42,582	44,007
長期借入金		38,132	39,598
退職給付引当金		164	213
預り保証金		3,630	3,617
その他の固定負債		653	578
負債合計		59,665	58,397
(資本の部)			
資本金		—	9,126
資本剰余金		—	3,398
利益剰余金		—	3,947
株式等評価差額金		—	722
自己株式		—	△820
資本合計		—	16,374
負債・資本合計		—	74,771
(純資産の部)			
株主資本		15,869	—
資本金		9,126	—
資本剰余金		3,399	—
利益剰余金		4,173	—
自己株式		△829	—
評価・換算差額等		519	—
その他有価証券評価差額金		519	—
純資産合計		16,388	—
負債・純資産合計		76,054	—

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	第106期	第105期
		（平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）
鉄道事業	業収	1,281	1,194
営業	業費	1,246	1,147
自動車事業	業利	35	47
自動車事業	業収	2,832	2,823
営業	業費	2,273	2,254
観光事業	業利	559	569
観光事業	業収	17,684	15,744
営業	業費	15,545	14,307
土地建物	業利	2,138	1,437
土地建物	業収	2,218	2,202
営業	業費	1,614	1,457
営業	業利	604	745
全事業	業利	3,337	2,799

科目	期別	第106期	第105期
		（平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）
営業外	収益	193	183
営業外	費用	1,145	1,016
経常	利益	2,384	1,965
特別	利益	114	885
特別	損失	917	1,200
税引前	当期純利益	1,582	1,651
法人税、住民税及び事業税		780	548
法人税等	調整額	6	390
当期	純利益	794	711
前期	繰越利益	—	1,056
当期	未処分利益	—	1,768

株主資本等変動計算書

第106期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本									評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	その他利益剰余金		自己株式	株主資本 合計			その他 有価証券 評価差額金
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金					
平成18年3月31日 残高	9,126	2,398	999	3,398	1,959	219	1,768	3,947	△ 820	15,651	722	16,374
事業年度中の変動額												
剰余金の配当							△ 538	△ 538		△ 538		△ 538
役員賞与							△ 30	△ 30		△ 30		△ 30
当期純利益							794	794		794		794
自己株式の取得									△ 11	△ 11		△ 11
自己株式の処分			1	1					2	3		3
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額（純額）											△ 202	△ 202
事業年度中の変動額合計	—	—	1	1	—	—	226	226	△ 9	217	△ 202	14
平成19年3月31日 残高	9,126	2,398	1,000	3,399	1,959	219	1,994	4,173	△ 829	15,869	519	16,388

THE YEAR IN REVIEW

..... 当期のトピックス紹介

新規施設が続々オープン

富士急ハイランドに、総回転数ギネス世界記録認定の超大型ローラーコースター「ええじゃないか」がオープンいたしました。また、熱海市初島に、アジアリゾートをテーマとした複合リゾート施設「初島アイランドリゾート」がオープンいたしました。



富士急行線・河口湖駅がリニューアルオープン

富士急行線・河口湖駅の駅舎及びロータリーがリニューアルオープンいたしました。



2006

4月

「森の駅旭日丘」がオープン

山中湖畔旭日丘に、高速バス・路線バス・タクシー乗り場を集約した「旭日丘バスターミナル」と別荘オーナーへの“プレミアムサービス&ハウジングコーナー”を併せ持った複合施設「森の駅旭日丘」がオープンいたしました。



7月

8月

9月

「サウンドコニファー229」が2年ぶりに開催

富士急ハイランド・コニファーフォレストにおいて、恒例の夏の野外イベント「サウンドコニファー229」が2年ぶりに開催されました。



富士急行線に「マッターホルン号」が運行

富士急行線において、スイスのマッターホルン・ゴッタード鉄道との姉妹鉄道締結15周年及び富士急行会社創立80周年を記念し、マッターホルン・ゴッタード鉄道の車両と同じ赤と白を基調としたデザインに塗り替え、運行を開始いたしました。



「さがみ湖ピクニックランド」が富士急グループに仲間入り

2月1日、神奈川県相模湖畔の広大な自然を活かした「さがみ湖ピクニックランド」が新たに富士急グループに仲間入りいたしました。



3月

2月

2007

1月

12月

11月

10月

「ふじやま温泉」がオープン

富士急ハイランドエリアに、女性専用フロアなど充実の施設を備えた、純和風天然温泉施設「ふじやま温泉」がオープンいたしました。



富士急行線「トーマスランド号」がリニューアルして登場

富士急行線において、これまで車体に描かれたトーマスのイラストが好評を博している「トーマスランド号」が、天井や壁面にトーマスや仲間たちがたくさん描かれるなど、新たに車内をリニューアルして登場いたしました。



富士急ハイランドに 「ガンダム クライシス」が誕生

この夏、富士急ハイランドに「機動戦士ガンダム」の新アトラクション「GUNDAM CRISIS (ガンダム クライシス)」が誕生いたします。

新アトラクションの舞台となるのはガンダムの格納庫。そこには世界初となるフルボディでの実寸大1/1ガンダム（全長約18m）が実際に格納されています。“本物のガンダム”に会える新アトラクションの誕生にどうぞご期待下さい。



© 創通・サンライズ

遊園地「ぐりんぱ」に 「M78ウルトラマンパーク」が誕生

この夏、遊園地「ぐりんぱ」に「M78ウルトラマンパーク」が誕生いたします。

アトラクションやショップのほか、ウルトラマンやバルタン星人などのお馴染みのキャラクターと一緒に写真を撮れるスポットなどM78ウルトラマンの世界がパーク中に広がる、夢いっぱいテーマゾーンです。



© TSUBURAYA PROD.

山中湖畔旭日丘に 「PICA山中湖ヴィレッジ」がオープン

この夏、山中湖畔旭日丘に宿泊型アウトドアリゾート「PICA山中湖ヴィレッジ」がオープンいたします。宿泊コテージ、センターハウス（レストラン、売店、イベントホールなど）、カフェ、オーガニック・ガーデンなど、自然を感じながらゆったりとくつろげるアウトドアリゾートが広がります。





www.fujikyuu.co.jp

富士急グループホームページで最新情報をチェック!

ここで紹介している各施設は、富士急グループのホームページで随時最新情報を発信しています。施設紹介やイベント情報の他、ホテル・ゴルフ場などのご予約も承っておりますので、お出かけの際は気軽にアクセスして下さい!

【バス・鉄道】

- バス (0555)22-7100
- 高速バス予約センター
(富士五湖線) (0555)72-5111
(甲府線) (055)237-0135
(東京駅~河口湖駅線) (0555)72-2922
- 鉄道 (0555)22-7106

【遊園地】

- 富士急ハイランド (0555)23-2111
- 遊園地「ぐりんぱ」 (055)998-1111
- スノータウン「Yeti」 (055)998-0636
- 初島アイランドリゾート (0557)67-2151

【ホテル】

- ハイランドリゾート ホテル&スパ (0555)22-1000
- ホテルマウント富士 (0555)62-2111
- 富士宮富士急ホテル (0544)23-6666

【ゴルフ場】

- 富士ゴルフコース (0555)62-1227
- ゴルフパークBandi (055)998-1122
- 大富士ゴルフ場 (0545)21-4111

【別荘地】

- 山中湖畔別荘地セルスオフィス (0555)62-0043
- 十里木高原別荘地管理センター (055)998-1212

会社概要 (平成19年3月31日現在)

商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO., LTD.

所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

設立 大正15（1926）年9月18日

資本金 91億2,634万円

代表者 代表取締役社長 堀内光一郎

主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、
土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、
旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成19年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内光雄	取締役	尾崎護
取締役社長 (代表取締役)	堀内光一郎	取締役	梶原実
専務取締役	帆足雅晴	取締役	小泉孝範
専務取締役	澤辺正恭	取締役	石川二比古
常務取締役	清水守	取締役	福重隆一
常務取締役	堀内哲夫	取締役	小林正幸
取締役	林有厚	常勤監査役	矢野勝泰
取締役	宇野郁夫	監査役	和光力
取締役	山智史	監査役	堀田信一
取締役	藤田讓	監査役	岡本和也

連結子会社の状況 (平成19年3月31日現在)

■運輸部門

岳南鉄道(株)
富士急行観光(株)
富士急平和観光(株)
富士急山梨バス(株)
富士急シティバス(株)
富士急静岡バス(株)
(株)フジエクスプレス
富士急湘南バス(株)
富士急オートサービス(株)
(株)静岡ホールディング

富士急伊豆タクシー(株)
富士急山梨ハイヤー(株)
(株)富士急マリンリゾート
他5社

■不動産部門

(株)富士急リゾートアメニティ
他1社

■レジャー・サービス部門

(株)富士急ハイランド
(株)フジヤマリゾート
相模湖リゾート(株)
(株)富士宮富士急ホテル
ハイランドリゾート(株)
表富士観光(株)
富士急安達太良観光(株)
富士観光興業(株)
表富士グリーン観光(株)
富士急トラベル(株)

(株)ピカ
他2社

■その他部門

(株)富士急百貨店
富士急建設(株)
(株)富士急情報システム
富士ミネラルウォーター(株)
(株)ネプチューン
他4社

株式情報

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

発行可能株式総数 331,695,000株
発行済株式総数 109,769,477株
株主数 5,348名

単元未満株式の買取および買増制度のご案内

・単元未満株式の**買取制度**
株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取らせていただく制度です。

・単元未満株式の**買増制度**
株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるような株式を、当社が市場価格にて株主様に売却する制度です。

当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本店および全国各支店、野村證券株式会社全国本支店にて受付けております。また株券保管振替制度をご利用の株主様は、株券を預託された証券会社へお申し出下さい。

〈単元未満株式の買取および買増制度に関するお問い合わせ先〉

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
0120-244-479 (24時間自動音声応答)

大株主 (平成19年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,709	9.76
富国生命保険相互会社	10,700	9.75
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
みずほ信託退職給付信託スルガ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	2,555	2.33
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25
富士急行株式会社(自己株口)	2,090	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,028	1.85

ハイランドリゾート ホテル&スパで癒しのステイ



富士の大パノラマが出迎える贅沢なロケーションに感動

都心からわずか80分。
雄大な富士山を眼前に温泉やグルメ、
アミューズメントが詰まったリゾートホテルへ



地元の料理を使った料理やワインに舌鼓 「ふじやま温泉」で天然温泉につかる至福のとき



HIGHLAND RESORT

Hotel & Spa

tel.0555-22-1000 〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原5-6-1
www.highlandresort.co.jp

- 中央自動車道・河口湖I.C.隣接。
- 東富士五湖道路・富士吉田I.C.降りてすぐ。
- JR中央本線・大月駅乗換、
富士急行線・富士吉田駅下車。タクシー5分。
- 新宿駅から中央高速バス。
富士急行線・富士吉田駅下車。すぐ前。
- 東京駅八重洲南口から東名高速バス。
富士急行線・富士吉田駅下車。すぐ前。

富士急ハイランド隣接



Fujikyū group Highway bus

富士急グループ高速バス

富士急が贈るとっておきのバスの旅

成田空港線

写真提供: 成田国際空港株式会社



■ 静岡東部発着

新富士駅…5,000円

沼津駅北口…4,500円

予約先 0545-71-2660

http://www.j-bus.co.jp

■ 松田・小田原発着

松田…4,000円

小田原…3,800円

予約先 0465-82-1362

http://www.j-bus.co.jp

京都・大阪線



■ 富士五湖・静岡東部発着

河口湖駅・富士急ハイランド～大阪…8,500円

河口湖駅・富士急ハイランド～京都…8,000円

沼津駅北口～大阪…7,600円

沼津駅北口～京都…7,100円

予約先 0555-72-2922

http://www.j-bus.co.jp

新宿線

©財団法人東京観光財団



■ 富士五湖発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

予約先 0555-72-5111

■ 甲府発着

甲府駅…1,950円

予約先 055-237-0135

■ 諏訪岡谷発着

岡谷駅…3,060円

■ 伊那発着

駒ヶ根市…3,650円

予約先 03-5376-2222

■ 沼津発着

沼津駅北口…2,100円

千福下…1,800円

予約先 0555-921-5367 http://www.highwaybus.com

東京線

©財団法人東京観光財団



■ 富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 0555-72-2922

■ 沼津発着

沼津駅北口…2,100円

千福下…1,800円

予約先 055-929-1144

■ 富士宮発着

富士宮駅…2,500円

■ 富士・吉原発着

富士駅南口・吉原中央駅…2,300円

予約先 0545-71-2660

http://www.j-bus.co.jp

横浜線



■ 富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…2,000円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 0555-72-2922

http://www.j-bus.co.jp

※季節限定で
運行しております。

●富士山五合目～静岡線
●富士山五合目～新松田線

●富士五湖～静岡線
●富士五湖～川越・大宮線
●富士五湖～所沢・大宮線
●富士五湖～名古屋線
●富士五湖～新松田線

富士急行

URL <http://www.fujikyū.co.jp> ☎0555-22-7100

株主優待のご案内

電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
1,000株以上	電車全線乗車 (1枚につき1名乗車) バス全線乗車 (1枚につき1名乗車)	7枚
3,000株以上	富士急ハイランド入園 (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換) ぐりんぱ入園 (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換) さがみ湖ピクニックランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換)	10枚
5,000株以上	スノータウン「Yeti」 (5枚につき1日券1枚と引換) あだたら高原スキー場 (5枚につき1日リフト券又はゴンドラ往復券1枚と引換) 初島アイランドリゾート (1枚につき1名)	15枚
10,000株以上	天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復)) 河口湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)・山中湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)	25枚
20,000株以上	初島航路 (1枚につき1名乗船 (片道)) フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館) ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)	40枚

フリーバス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
1,000株以上		1枚
3,000株以上	遊園地フリーバス	2枚
5,000株以上	(富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖ピクニックランド)	3枚
10,000株以上	スキー場一日券	4枚
20,000株以上	(スノータウン「Yeti」)	5枚
35,000株以上	あだたら高原スキー場	6枚

高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
5,000株以上	高速バス乗車券	1枚
10,000株以上		2枚
20,000株以上		4枚

注)高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線優待バス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
35,000株以上	電車・バス全線優待バス (表示された持参者1名)	1枚

施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)	
1,000株以上	ハイランドリゾート ホテル&スパ	1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	ホテルマウント富士		2枚
	富士急グループホテル プール割引券	ハイランドリゾート・マウント富士 20%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
	あだたら高原富士急ホテル		2枚
	富士宮富士急ホテル	3ホテル共通1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	
	甲府イーストサイドホテル		
	富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー、食事付入浴 10%割引 (1枚につき4名まで)	5枚
	富士ゴルフコース		1枚
	ゴルフパーク「Bandi」	バック料金から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
	大富士ゴルフ場		1枚
	ふじやま温泉	平日 大人800円 小人400円 土休日 大人1,050円 小人500円 (1枚につき4名まで)	2枚
	PICA・キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引	2枚
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	1枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚	
富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円 (1枚につき4名まで)	2枚	
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚	

長期保有特別優待券 (3年継続保有毎)

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(3年継続保有毎)
10,000株以上	「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%又はホテル内レストラン	2枚
35,000株以上	利用料30%割引券	3枚

注)対象となる方は、過去3年間すべての基準日において、1万株以上又は3万5千株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に限りです。

証券保管振替機構をご利用になる際など、株主番号が変更になる場合には、登録する氏名の新字体と旧字体の違いなどにもご注意ください。

注)12月31日、1月1日、5月3～5日、旧盆(8/11～15)、9月24～30日のご宿泊はご利用いただけません。レストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

各種株主優待券の発行時期及び有効期間

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月	6月1日～11月30日
9月30日現在の株主様	11月	12月1日～5月31日

※各種株主優待券は毎年3月31日及び9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。

※長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話問合せ) 郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載



富士急行株式会社

本 社 山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社 東京都渋谷区初台一丁目55番7号
<http://www.fujikyū.co.jp/>



大豆インク配合率100%の環境配慮型印刷